

## 私立大学図書館協会 2007 年度第 3 回国際図書館協力委員会議事要録

**日 時**：2007 年 10 月 5 日（金）15:00～17:00

**場 所**：慶應義塾大学 三田キャンパス 図書館 6F 会議室

**出席者**：落合万里子（同志社大学）、飼沼敏雄（名城大学）、風間茂彦（慶應義塾大学）  
新田晶平（大阪学院大学）、三浦 治（帝京大学）、丸本 操（東京経済大）

**事務局**：関 達朗（東京経済大）

### 配付資料：

- ( 1 ) 第 2 回寄贈資料搬送事業
  - ・実施案内
  - ・寄贈資料搬送申請書書式
- ( 2 ) 支援企業一覧
- ( 3 ) 海外集合研修
  - ・参加者募集案内文書（案）
  - ・参加申込書書式
- ( 4 ) 国際図書館協力シンポジウム
  - ・開催案内文書（案）
  - ・参加申込書書式
  - ・2005 年度資料（レジユメ、会計報告、領収書）
  - ・通訳に関する見積もり
- ( 5 ) 海外派遣研修
  - ・2008 年度参加者募集案内文書（案）
- ( 6 ) 今年度予算執行状況
- ( 7 ) 2007 年度私立大学図書館協会スケジュール

### 報告事項：

- 1 第 2 回搬送事業について
  - ・委員長より、配付資料の通り、第 2 回搬送事業の実施案内文書が、9 月 2 1 日に会長校（中央大学）より発送されたとの報告があった。
- 2 国際図書館協力基金への納入状況について
  - ・委員長より、配布資料の通り、現在までに 8 社より計 8 5 万円の入金があったとの報告があった。
  - ・この数年納入実績があり、今年度は未入金の企業については、重ねて依頼してもよいのではないかとの意見が出された。
  - ・委員長より、今年度はあと 2、3 社、合計で 1 0 0 万円超程度を目標と考えている旨の発言があった。

### 審議事項：

- 1 海外集合研修について
  - ・内容としてはほぼ昨年同様であるが、今年度は LC を除外し、OCLC とオハイオ州立大に絞ったほうがよいだろうということが確認された。
  - ・募集案内の内容について、下記の点を審議し、確認された。
    - 研修内容については参加者が自主的に企画するという点を明確にしておかないと誤解を招

くのではないかという意見が出され、案内の文案を早急に検討することとした。(10/9中に委員に回覧し、確認された上で会長校を通じて発送する。)

- 旅費・宿泊費の項目で、行き先がワシントンDCとなっているがこれは誤りで、コロンバスに修正する。
- 選考面接および事前説明会の場所については、日本図書館協会の会議室を仮に確保しているが、参加希望者の所属大学の地域によって、改めて検討することとした。
- 選考基準はどのようなものかという質問があり、英語力と人物面での評価ということではないかということが確認された。

## 2 国際図書館協力シンポジウムについて

- ・同志社大落合委員より、ワシントン大学図書館長 Lizabeth(Betsy) A.Wilson 氏との交渉経緯について報告があった。講演自体は引き受けていただいており、2月26日(火)という日程も確定しているが、内容等の詳細については今後さらに交渉が必要であり、これまで窓口となっていたいただいたワシントン大学の Keiko Yokota-Carter 氏からは、この先は直接交渉していただいたほうがよいとの申し出があったとのことである。これに関しては、紀伊國屋ライブラリー・サービス営業部 OCLC センター長である新元氏に依頼することです承された。
- ・もうひとつの柱であるパネルディスカッションの人選について審議され、Wilson 氏の講演テーマとして予定している「図書館評価」について関心があるという点から検討したところ、慶應義塾大学北里記念医学図書館の市古みどり氏、筑波大学の永田治樹氏、東北学院大の佐藤義則氏等。また、司会として立教大の牛崎進氏が候補として挙げられた。このうち、市古氏については風間委員の打診の結果内諾を得られた。その他の候補については交渉を進めることです承された。
- ・Wilson 氏には通訳が必要であるが、講演については同時通訳とし、パネル参加については通常の通訳をつけるということで、レジュメの翻訳も含めて見積もりを取っているが、ほぼその方向で準備を進めることです承された。
- ・開催場所については、慶應三田が便が良いということになり、その場で可能性を打診したところ、候補日時に「北館ホール」(シンポジウム)および「北館ファカルティークラブ」(懇親会)が利用可能であることが明らかになったので、その方向で進めてゆくこととなった。
- ・上記の内容については、11月中旬に詳細を確定し、次回委員会で確認することとする。

## 3 2008年度海外派遣研修について

- ・基本的には、例年通りイリノイ州モートンソンセンターとの協定に基づくプログラムの実施となるが、選考面接の日程等、次回委員会までに検討することです承された。

## その他：

- 1 今年度予算  
委員長より、現時点での予算執行状況と、今後の執行予定の概要について報告があった。
- 2 年度内スケジュール  
次回委員会は12月7日(金)に集合研修参加者の説明会にあわせて開催することとした。場所については、日本図書館協会会議室を仮に確保してあるが、参加者の所属大学によっては変更の可能性もある。

以上